

林業大学校等の学校紹介等

各林業大学校等の概要等

名 称	ふくい林業カレッジ	所在地	福井県坂井市(福井県総合グリーンセンター) H28年5月開校
設置・運営主体	福井県	学校等の種類	専修学校/各種学校(その他)
教育理念・設置目的	県内林業事業者などへの就業を目指す方を対象に、林業に関する知識や技術を学ぶ研修を行い、将来の福井の林業を担う人材を育成する。		
学科・コース (定員・期間)	長期コース (8名・1年間)	短期コース (4名・3か月間)	
教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。)	<p>【講義】 座学: 林業や木材等、森林に関する基礎知識を習得 現地研修: 伐倒技術や林業機械の安全な操作方法などを習得</p> <p>【インターンシップ】 林業事業者などへのインターンシップを通して、就業に必要な測量や伐採・搬出等の技術を習得</p> <p>【資格】 ①刈払機、②伐木等(大径木含)、③車両系建設機械(整地・運搬、積込用及び掘削用)、④玉掛、⑤小型移動式クレーン、⑥フォークリフト、⑦走行集材機械、⑧不整地運搬車、⑨荷役運搬機械等によるはい作業従事者、⑩機械集材、⑪簡易架線集材、⑫伐木等機械、⑬狩猟免許準備講習</p>	<p>【講義】 座学: 林業を行うための基礎知識や安全対策などを習得 現地研修: 伐倒技術や林業機械の安全な操作方法などを習得</p> <p>【資格】 ①刈払機、②伐木等(大径木含)、③車両系建設機械(整地・運搬、積込用及び掘削用)、④玉掛、⑤小型移動式クレーン、⑥走行集材機械、⑦機械集材、⑧簡易架線集材、⑨伐木等機械</p>	
その他学校等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・長期コースでは、研修期間中に2週間のインターンシップ研修を5回実施し、様々な林業事業者などの職場体験を実施することで、就業後のミスマッチを防止 ・福井森林管理署と締結した協定に基づき、座学講師派遣や国有林における現地実習について連携・協力 ・Iターンの研修生に対し給付金を支給(財源: 県費) 		
新たな取組(今後検討)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から研修期間が約3か月の短期コースを新設し、早期就業希望者などのニーズに対応 ・短期コースの研修生に対し給付金を支給(財源: 森林環境譲与税) 		
卒業後の進路	県内の森林組合、民間林業事業者、木材関係業者等		
林野庁予算(事業)の活用状況	要件を満たす研修生は「緑の青年就業準備給付金事業」を活用		
国有林野事業からの講師派遣やフィールド提供等の有無(協定締結を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月にふくい林業カレッジと福井森林管理署とで連携・協力協定を締結 ・署長の講義(国有林の現況や業務内容など)、森林調査の現地勉強会等を実施 		
林野庁及び国有林野事業に対する要望	【林野庁】 「緑の青年就業準備給付金事業」の予算確保をお願いしたい。		
	【国有林野事業】		

各林業大学校等の概要等

名 称	みえ森林・林業アカデミー		所在地	三重県津市(三重県林業研究所) 平成31年4月開講	
設置・運営主体	三重県		学校等の種類	専修学校/各種学校/その他	
教育理念・設置目的	<p>森林、林業、木材産業、または、地域社会等において、様々な課題に自ら取り組み、それぞれの分野をけん引する人材を育成するため、次に掲げる人材育成を進める。</p> <p>①新たな視点、多様な経営感覚及び科学的知見を備える人材 ②高い使命感及び広い社会性を備え、意欲的に行動できる人材 ③先進的かつ戦略的な取組を実践できる人材 ④環境及び安全に配慮した取組を実践できる人材</p>				
学科・コース (定員・期間)	ディレクター育成コース (5名・2年間 全36日)	マネージャー育成コース (10名・1年間 全14日)	プレイヤー育成コース (10名・1年間 全14日)	その他	
教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。)	<p>森林を経営資源として多様な価値を創造するため、分野の枠にとらわれない先進的で幅広い知識やスキルを習得する。</p> <p>林業一般、組織運営、森林経営、木材需要と流通、資源管理、資源活用、プロジェクトの企画、林業トレンド、プロジェクトの実践</p>	<p>コスト削減や収益拡大等を実現するため、経営・管理に係る実践的な知識やスキルを習得する。</p> <p>林業一般、マネジメント、会計基礎、林業経営、路網計画、木材需要と流通、情報発信</p>	<p>作業の生産性・安全性を高め、効果的な施業を自ら考え実践するため、科学的な知見に基づく、専門性の高い知識や知識を取得する。</p> <p>林業一般、安全技術、目標林型と森林施業、路網計画、森林整備の目的と公的制度、木材の生産、指導技術</p>	<p>・選択講座 それぞれのニーズに応じた、より専門性の高い各種技術を習得する。</p> <p>・市町職員講座 市町職員を対象に、林務行政の基礎知識を習得し、新たな森林管理システムへの対応や森林環境譲与税を活用した施策立案の演習を行う。</p> <p>・林業体験講座 林業への就業に関心がある人を対象に、森林・林業の基礎知識を学び、林業作業の体験実習を行う。</p> <p>・地域林政アドバイザー講座 地域林政アドバイザーを活用した取り組みの積極的な推進を図るために、林野庁の認定を受けた研修を行う。</p>	
その他学校等の特徴	<p>①働きながらも学べる 基本コースの受講日数は、年14～21日で、一月あたりでは1～3日程度となるため、働いている方でも受講しやすく、短期間で効率的に学ぶことができます。</p> <p>②全国のトップランナー、先進事例から学べる 県内外のトップランナーを講師に迎え、様々な分野の最先端の知識・技術が学びます。また、そのような先進事例をいかにそれぞれの取り組みに適用・応用するかについて考えます。</p> <p>③アフターフォローも安心 各種相談や講師との取次ぎ、資料の貸し出しも行えます。</p>				
新たな取組(今後検討)	<p>①遠隔地でのサテライト講座の実施 本県は南北に長く、紀州地域など遠隔地域の方が参加しやすい環境を整備するため、地域の県庁舎や市庁舎等の公共施設を活用したサテライトを設置する。令和2年度においてサテライト環境を整備し、試行することとしており、次年度以降に基本コースや市町職員講座での本格運用を開始する。</p> <p>②新規就業者の育成 アカデミーでは森林・林業に関心のある方を対象に、「林業体験講座」を実施しているが、現状では林業への就業に繋がっていないため、高校生の職場体験や林業へ就業を希望する方を対象に新たに講座の企画検討。</p>				
卒業後の進路	既就業者を対象としている。				
林野庁予算(事業)の活用状況	森林環境譲与税 46,823千円				
国有林野事業からの講師派遣やフィールド提供等の有無(協定締結を含む。)	R元森林整備部長が講義(森林・林業概論)。R2企画調整課長が講義。 上記コース以外に開催される市町職員講座に署から講師派遣及び国有林現地見学会の開催。				
林野庁及び国有林野事業に対する要望	<p>【林野庁】 研修会などの開催情報を提供をお願いします。 引き続き、講座の運営に当たって講師派遣にご配慮をお願いします。</p> <p>【国有林野事業】 国有林内で開催される研修会などの情報提供をお願いします。</p>				

各林業大学校等の概要等

名 称	滋賀もりづくりアカデミー		所在地	滋賀県野洲市北桜978-95 (林業普及センター内)	
設置・運営主体	滋賀県		学校等の種類	専修学校/各種学校/その他	
教育理念・設置目的	<p>近年の台風等による風倒木処理の対応や、市町を主体とした新たな森林経営管理制度の導入による放置林への対応が求められ、本県の森林・林業における事業量はより一層増加している。</p> <p>その一方で、作業を担う林業従事者は、年々減少し高齢化が進んでおり、機械化の進展とともに高度なスキルが求められている。また、新たな森林経営管理制度を推進するためには、専門技術等を備えた市町職員が求められており、人材育成が急務になっている。</p> <p>そこで、これらの新たな課題に対応するために、「既業者」、「新規業者」、「市町職員」を対象とした新たに森林・林業人材の育成機関を開設することとした。</p>				
学科・コース (定員・期間)	既業者	市町職員	新規業者	高校生	
教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。)	・労働生産性 6m ³ /人・日以上を達成できる人材の育成をめざす。	・森林整備の方針を立て、業務の発注ができる人材	・現場作業が安全にできる人材 ・山村に新たな活力を与えてくれる人材		
その他学校等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・他府県と競合する高校新卒者は対象とせず、転職者の育成を対象としている。 ・特に新規業者の講座において、滋賀らしい人材育成を反映させるべく検討中。(新規業者コースは、今年度検討を行い、令和2年度に開講の予定) ・林業そのものだけでなく、林業に携わりながら山村の暮らし方を学ぶことができるカリキュラムの設定を検討している。 				
新たな取組(今後検討)	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度から新規業者コースを新たに開始した。 ・林業への転職を考えている人を対象としている。 ・新規業者コースは、年間の受講チャンスを3回設定しており、転職を希望する人がいつでも受講できるよう受講機会を設定している。 ・定員は各回2名。 ・第1期生7月1日～10月21日(受講者:2名)。 ・第2期生10月1日～1月12日(受講者:2名)。 ・第3期生12月18日～令和3年3月23日(受講者:未定) 				
卒業後の進路	森林組合等林業事業体ほか				
林野庁予算(事業)の活用状況	森林環境譲与税を活用				
国有林野事業からの講師派遣やフィールド提供等の有無(協定締結を含む。)	なし				
林野庁及び国有林野事業に対する要望	【林野庁】 ・講師に関する情報を広く教えていただきたい。(どのような人が、どのような分野に長けているか)				
	【国有林野事業】 ・研修フィールドがあれば提供いただきたい。				

各林業大学校等の概要等

名 称	京都府立林業大学校		所在地	京都府京丹波町 平成24年4月開校			
設置・運営主体	京都府		学校等の種類	専修学校(各種学校)/その他			
教育理念・設置目的	<p>これまでの森林・林業教育にない人材育成や資格取得に取り組みます。</p> <p>①実践的な技術・知識を身につけて第一線で活躍できる人材</p> <p>②森林保全活動から野生鳥獣対策まで幅広い地域活動を支える公共人材</p> <p>③森林組合等林業事業体の経営力の向上を支える人材</p>						
学科・コース (定員・期間)	森林林業科 (20名・2年間)		研修科				
	林業専攻	森林公共 人材育成	林業トレー ニングコース (20名・2ヶ 月)	経営高度化 コース (20名・3ヶ 月)	森林保全・野 生鳥獣対策 コース (20名・6日程 度)	森と木の文 化コース (20~50名・ 年4回)	
教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。)	森林科学、育林技術、森林・林業経営、木材利用、林業機械(各種林業機械操作の資格取得のための教育、実習を含む)、森林計測・森林路網等		林業の基礎知識、基礎技術の習得など	中期計画の立案、マーケティング力養成、コスト分析など	森林に関する基礎知識、利用・育成方法、鳥獣害防除の習得など	「京都の森の文化を再発見・発信」をテーマにした体験型講座	
その他学校等の特徴	<p>本校の特徴は、講義3実習7の割合で実践的なカリキュラムを組んでいることです。また、事業者での実習にも力を入れており1年次のインターンシップ(短期)と2年次後期には「キャップストーン研修(長期・2クール)」と称する職場実習を実施しています。キャップストーンとは、ピラミッドの頂点に置かれた石のことで、基礎教育、専門教育と積みあがった上に総仕上げとしてこの研修を行っています。この成果は、就職した職場への定着に結び付くことから本校では特に重視しています。</p>						
新たな取組(今後検討)	<p>新型コロナウイルス感染症による約2ヶ月の休校のため、新たにweb授業に取り組んだ。</p> <p>パソコンを生徒全員が持っていないので、スマートホンでも対応できる、ラインを利用したweb授業であったため、画面が小さく、また、聞き取りにくいなどの不具合も発生した。今後、新型コロナウイルス感染症の終息が不透明なことから、生徒への貸し出し用のタブレットを用意するなどの対策が必要であると考えている。</p>						
卒業後の進路	森林組合連合会、森林組合、林業、木材製造業、木質バイオマス関連会社、林業機械会社、造園業、公務員など						
林野庁予算(事業)の活用状況	緑の青年就業準備給付金事業						
国有林野事業からの講師派遣やフィールド提供等の有無(協定締結を含む。)	森林整備部長等が講義、実習に国有林のフィールド提供。						
林野庁及び国有林野事業に対する要望	<p>【林野庁】・緑の青年就業準備給付金事業の予算拡充と要件緩和</p> <p>・林大生が使用する防護服等安全用具に対する補助</p> <p>【国有林野事業】引き続き、授業・実習での指導をよろしくお願いします。</p>						

各林業大学校等の概要等

名 称	兵庫県立森林大学校	所在地	兵庫県宍粟市 平成29年4月開校		
設置・運営主体	兵庫県	学校等の種類	専修学校/各種学校/その他		
教育理念・設置目的	次代の林業を担う人材の養成を行うとともに、森林に関わる人材等を幅広く育成する。これにより、森林の多面的機能の増進と地域の活性化に寄与する。				
学科・コース (定員・期間)	専攻科 (20名・2年間)	研修科			
		林業機械高度化コース	森林経営高度化コース	木材利用高度化コース	
教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。)	①木材生産、森林整備等の実践的な技能の習得。専門技術の資格取得 ②持続可能な地域の森林経営のための高度な専門知識及び技術の習得、森林経営の見聞を広める国内外の林業先進地での研修 ③森林の持つ多面的な機能の習熟、獣害対策 【資格】 ①刈払機、②伐木等(大径木含)、③機械集材、④走行集材機械、⑤簡易架線集材、⑥伐木等機械、⑦車両系建設機械(整地・運搬、積込用及び掘削用)、⑧小型移動式クレーン、⑨玉掛、⑩林業架線作業主任者(実働3年以上)、⑪⑫日赤救急法救急員、⑬狩猟免許(わな)、⑭樹木医補、⑮森林情報士2級、⑯森林インストラクター(2次試験1部免除(20歳～))、⑰スクールインタープリター入門、⑱選択:はい作業、⑲選択:森林健康指導士2級(通信)、⑳選択:認定森林施業プランナー	路網作設技術や架線系林業機械技術等	組織マネジメント、森林クラウドICT活用等	建築等新用途、木造住宅建築入門等	
その他学校等の特徴	国、県、市町、業界や地域との連携・協力 ・国、県、市町、林業・木材産業の業界との連携による実践教育の充実と就業の促進 ・多自然地域まるごとキャンパスとして、森林王国ならではの地域の魅力を体験 ・地域との交流行事を通じて、多自然地域への定住促進や地域を活性化				
新たな取組(今後検討)	スマート林業や主伐・再造林を担う人材の育成 令和2年4月17日に「兵庫県立森林大学校の人材育成等への連携と協力に関する協定」を兵庫森林管理署、宍粟市及び大学校の3者で締結。 令和2年5月11日付けで国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場と大学校の間で「ヒノキエリートツリー及びキハダ植栽共同試験に係る覚書」を締結。 令和2年7月3日付けで林野庁近畿中国森林管理局長と兵庫県知事との間で、天皇陛下御即位を記念する分収造林として、約2haの国有林における分収造林契約を締結。 今後、当該国有林において、造林保育を中心とした学生の実習フィールドとして活用を図る。				
卒業後の進路	令和2年3月末の卒業生等34名全員が森林林業関係へ進む。内訳は林業分野14名(森林組合8、林業事業体6)、木材産業分野10名(製材3、木材流通1、木材加工3、チップ3)、森林関係分野3名(造園・緑化3)、公務員5名(国2、県1、市町1、公社1)、自営1、進学1				
林野庁予算(事業)の活用状況	緑の青年就業準備給付金(H29～) 森林環境譲与税(R01～) (参考)地方創生推進交付金(H28～)				
国有林野事業からの講師派遣やフィールド提供等の有無(協定締結を含む。)	元長官が名誉校長。 署長が講義、国有林からフィールド提供・現地説明を実施。 森林管理署と市と大学校の人材育成等の連携協力協定締結。 天皇陛下御即位記念分収造林契約締結と記念行事の開催。				
林野庁及び国有林野事業に対する要望	【林野庁】 林業大学校等のカリキュラムの基本的な指針や教科書等の作成(現在、鹿児島大を中心に検討中) 林業労働者の地位向上に向けた資格制度の創設 インターンシップや実習中の事故等(特に高性能林業機械操作に伴う事故)に対する共済制度の創設 【国有林野事業】 学生のインターンシップの受け入れ、希望者への業務説明会の開催、講義への講師派遣、実習等のフィールドの提供、卒業研究等に関する指導助言など引き続きお願いします。				

各林業大学校等の概要等

名称	奈良県フォレスターアカデミー(令和3年4月開校)	所在地	吉野郡吉野町飯貝680 (県立吉野高等学校校内)
設置・運営主体	奈良県(将来的に法人委託を視野)	学校等の種類	その他(条例設置)
教育理念 設置目的	森林環境の維持向上に関する専門的な知識を有し、かつ、それを実践することができる技術及び技能を備えた人材を養成し、もって森林と人との恒久的な共生に寄与する。		
学科・コース (定員・期間)	フォレスター学科(10名・2年)	森林作業員学科(10名・1年)	
教育研修内容 (資格取得)	森林管理・林業を実践する技術の習得と、森林の持つ「森林資源生産」「防災」「生物多様性保全」「レクリエーション(社会性)」に関する理論を理解しマネジメントできる能力を身につける。 さらに、森林管理の行政的知識、手続き等を身につけ、市町村の森林行政の根幹を担える人材となるようなカリキュラムを修得する。	主に森林管理・林業を実践する技術の習得と、森林の持つ「森林資源生産」「防災」「生物多様性保全」「レクリエーション(社会性)」に関する理論の概要を理解する。	
	【資格取得】 刈払機作業安全衛生教育、チェーンソー作業従事者特別教育、玉掛け技能講習、小型移動式クレーン技能講習、不整地運搬車技能講習、機械集材装置運転業務特別教育、荷役運搬機械等によるはい作業従事者安全教育、車両系建設機械運転技能講習、走行集材機械運転業務特別教育、伐木等機械運転業務特別教育、簡易架線集材装置等運転業務特別教育、フォークリフト運転技能講習、林業架線作業主任者免許講習、狩猟・わな猟免許 ※各学科修了者には県独自資格を付与 フォレスター学科→奈良県森林環境管理士 森林作業員学科→奈良県森林環境管理作業士		
その他学校等の特徴	スイス・リース林業教育センターと連携		
新たな取組(今後検討)	フォレスター学科の入学定員10人程度のうち5人程度は、新たに県の専門職として創設した「森林管理職」として採用した県職員を入学させ、卒業後に奈良県フォレスターに任命のうえ、森林のある市町村へ配置する予定。 現在、奈良県人事委員会において、森林管理職の採用試験に向けた手続きが進められており、森林管理職5人程度の募集に対して、121人が応募。		
卒業後の進路	フォレスター学科(10名・2年)	森林作業員学科(10名・1年)	
	・奈良県フォレスター(県職員の身分で市町村へ配置) ・コンサル、林業事業体(管理部門)等	・林業事業体 ・自伐林家等	
林野庁予算(事業)の活用状況	緑の青年就業準備給付金事業 活用予定		
国有林林野事業からの講師派遣やフィールド提供等の有無	フィールド提供、講師派遣については今後お願いする予定(検討中)		
林野庁及び国有林林野事業に対する要望	【林野庁】 緑の青年就業準備給付金事業の予算確保をお願いしたい。		
	【国有林林野事業】 フィールドの提供、講師の派遣など		

各林業大学校等の概要等

名 称	和歌山県農林大学校林業研修部	所在地	和歌山県西牟婁郡上富田町 平成29年4月林業研修部新設			
設置・運営主体	和歌山県	学校等の種類	専修学校/各種学校(その他)			
教育理念・設置目的	<p>【林業経営コース】 和歌山県の豊かな森林資源を有効に活用し、林業及び木材産業の振興や中山間地域の活性化を図ることにより、県民が多面的な森林の恵みを持続的に享受できるようにするための林業の中核を支える人材を育成する。</p> <p>【スキルアップコース】 既に林業に従事している方を対象に、個々のスキルアップを図るための研修を実施し、林業事業者等において中核となる人材を育成する。</p>					
学科・コース (定員・期間)	林業経営コース (10名・1年)		スキルアップコース			
			林業技能 作業士 育成研修 (一・58日)	林業架線 技術者 育成研修 (5名・35日)	高度伐木 技術者 育成研修 (8名・10日)	原木選別 技術者 育成研修 (10名・3日)
教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ○基本能力:労働安全、統計情報処理、自己研鑽等 ○育林・造林技術:育苗、育林、伐木造材等 ○森林・林業経営:森林計画、木材生産システム等 ○木材利用:木材加工、木造建築等 ○森林路網・計測:森林情報、GIS、作業道作設等 ○里山保全:鳥獣害対策、特用林産 ○林業機械:高性能林業機械や集材機の操作等 ○森林評価:森林・木材の適正評価 ○インターンシップ ○資格取得:作業に必要な15の資格等を取得 		森林作業 全般に必要 となる資格 取得等	林業架線 集材作業に 必要な資格 取得等	樹上での伐 採作業や 広葉樹伐 採等	原木の直 送システム や選別技 術等
その他学校等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○少数で密度の濃い実技研修 徹底した個別指導、チェーンソーや林業用重機操作等の実習時間が充実 ○林業の最先端機材を活用した研修、安全教育の徹底 ドローン、森林計測用レーザースキャナ(OWL)、高性能林業機械シミュレータ、傾斜伐倒練習機等を活用 (雨天時は、屋内練習施設に設置した傾斜伐倒練習機等での研修が可能) ○一人ひとりにきめ細やかな就職指導 <ul style="list-style-type: none"> ・県内求人事業体に関する情報を提供 わかやま林業労働力確保支援センターが実施する「わかやま森の職業紹介ナビ」を利用 ・充実したインターンシップ研修(就業条件や職場環境等の確認が可能:年2回、12日/回) 					
新たな取組(今後検討)	<ul style="list-style-type: none"> ○45歳～54歳(林業就業予定時)の者への給付金制度を創設(県独自) 緑の青年就業準備給付金事業の対象年齢を引き上げ ※その他、チェーンソー防護衣やヘルメット購入に対する支援制度もあり 					
卒業後の進路	森林組合、民間(素材生産業者、育林業者、木材市場) など					
林野庁予算(事業)の 活用状況	○緑の青年就業準備給付金事業(H29～)					
国有林野事業からの講師 派遣やフィールド提供等 の有無(協定締結を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ○林業経営コースの研修科目【木材産業】において、和歌山森林管理署長が講義 ○林業経営コースの研修科目【鳥獣害対策】における防除ネット設置作業体験を国有林フィールドで実施 					
林野庁及び国有林野事業 に対する要望	<p>【林野庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑の青年就業準備給付金に対する、必要予算の確保 ・緑の青年就業準備給付金受給者の就業先に、森林管理を担う公務員(林学職)を認めていただきたい。 <p>【国有林野事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修に係るフィールド提供や講師派遣をお願いします。 					

各林業大学校等の概要等

名 称	にちなん中国山地林業アカデミー	所在地	鳥取県日南町多里782-2 平成31年4月開校	
設置・運営主体	鳥取県日南町	学校等の種類	専修学校(各種学校)/その他	
教育理念・設置目的	実践的な林業現場研修により技術と知恵、専門家の講義から最新かつ必須の林学・教養の知識を習得し、わが国の林業を牽引する地域から信頼される林業技術者の養成を目的とする。また、地域及び林業に関する課題について、林業従事者に必要な短期間の技術研修の実施、地域活動への協力、山村地域のあらゆる分野の研究を通じて、地域社会及び林業の発展に貢献する。			
学科・コース (定員・期間)	林業専修科 (10名・1年間)	林業研修科 (研修別に定める)		
教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。)	林業技術、林業経営等の専門的知識及び技術の習得。	林業技術、林業経営等の専門的知識及び技術の習得。 木育をはじめとする森林保全、木の文化等の多様な分野における理解を深めるために必要な知識及び技術の普及。		
その他学校等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○全国初の町立の林業アカデミー ○卒業後の進路については、町内のみならず、県内外どこでも選択可 ○鳥取大学、島根大学、鳥取県林業試験場との連携による充実した林学の講義 ○演習林の研修棟まで校舎から車で10分、演習林全域がFSC認証林で、その面積は668ha ○日南町立林業アカデミーの運営協力に関する覚書の締結(参画団体: 日南町森林組合、林野庁近畿中国森林管理局鳥取森林管理署、林野庁近畿中国森林管理局森林整備部森林技術・支援センター、鳥取県、公益財団法人鳥取県林業担い手育成財団、国立大学法人鳥取大学農学部フィールドサイエンスセンター、国立大学法人島根大学、株式会社レンタルのニッケン、大建工業株式会社、国土防災技術株式会社、株式会社オロチ、日南町木材生産事業協同組合、株式会社グリーンシャイン、岡山県施業研究会) 			
新たな取組(今後検討)	<ul style="list-style-type: none"> ○森林教育における森林・林業の理解を広げる活動 ○島根大学との共同研究(実施中): 作業道の完成検査のドローン利用の可能性 ○実習棟の新設(年内完成予定) ○林産物利用 ○長期林業研修制度の検討 			
卒業後の進路	卒業生7名中5名林業事業体就職、1名: 建設会社からの派遣のため帰社、1名求職中 就職先: 日南町森林組合、神戸上農林			
林野庁予算(事業)の活用状況	<ul style="list-style-type: none"> ○林業成長産業化地域創出モデル事業(森林整備・林業振興整備交付金)…校舎建設(改修) ○林業成長産業化地域創出モデル事業(森林整備・林業振興推進交付金)…備品購入 ○緑の青年就業準備給付金事業(H31~) <p>※森林環境税の一部を、アカデミーの運営経費に充当</p>			
国有林野事業からの講師派遣やフィールド提供等の有無(協定締結を含む。)	平成31年3月に日南町とサポートチーム(鳥取署及び森林技術・支援センターが構成員)とでアカデミーへ協力する旨の覚書を締結。鳥取森林管理署には、国有林の説明と環境に優しい施業現場の紹介。森林技術・支援センター広葉樹伐採現場、列状間伐の説明、ICT林業の体験。			
林野庁及び国有林野事業に対する要望	<p>【林野庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緑の青年就業準備給付金の予算拡充 ○事務量の軽減(毎年の制度変更など)、追跡期間の短縮 <p>【国有林野事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域内で連携した作業道、林道等の路網整備 			

各林業大学校等の概要等

名 称	島根県立農林大学校	所在地	〈林業科〉島根県飯石郡飯南町 〈本校(農業科)〉島根県大田市			
設置・運営主体	島根県	学校等の種類	専修学校(各種学校)その他			
教育理念・設置目的	次世代の島根県の林業をリードする森林管理技術者の養成。森林に関する実践的な技術と知識を身に付けた即戦力となる人材の育成。 また、早期養成コースでは、実践を想定した実習や林業事業体でのインターンシップ等のフィールドワーク主体のカリキュラムにより、林業現場で即戦力となる人材を短期間で養成。					
学科・コース (定員・期間)	養成部門 (林業科20名・2年間／早期養成コース5名程度・1年間)	研修部門 林業エンジニア研修 (2～10日間)				
教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。)	林業の総論、経営、資源管理、林産、生産基盤及び森林整備の分野を座学と実技を交えて習得するとともに、専攻実習で必要な分野を補完。 また、インターンシップ、卒業論文の実施。	小面積皆伐地における効率的な作業システムの導入・運用に必要な専門的、かつ、高度な知識・技術の習得。				
	(取得可能な資格) ■大型特殊自動車免許 ■車両系建設機械運転技能講習修了証 ■林業架線作業主任者免許講習修了証 ■伐木等業務特別教育修了証 ■刈払機取扱作業安全衛生教育修了証 ■伐木等機械の運転業務に係る特別教育修了証 ■走行集材機械の運転業務に係る特別教育修了証 ■簡易架線集材装置等の運転又は架線集材機械の運転業務に係る特別教育修了証 など	(取得可能な資格) ■機械集材装置運転業務特別教育修了証 ■伐木等機械の運転業務に係る特別教育修了証 ■走行集材機械の運転業務に係る特別教育修了証 など				
その他学校等の特徴	①実習重視のカリキュラムと充実した研修環境 (高性能林業機械であるハーベスタ、スイングヤード及びフォワーダを実習用として所有) ②林業就業に必要な様々な資格取得 ③きめ細やかな就職指導により就職率100% ④卒業するまで島根県が全力支援					
新たな取組(今後検討)	新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、都会から農山村への移住・就業に関心を持つ人が増える可能性を受けて、都市部等からの人材の受入れ体制確保を目的として、林業科に10月入学の1年課程(早期養成コース)を新設した。 ※林業科・早期養成コース：1期生 6名(令和2年10月6日入学式実施済)					
卒業後の進路	近年5年間の卒業生の就職先 (H27からR元年度まで)	森林組合	林業事業体	林業団体	その他産業	合計(人)
		15	17	1	1	34
林野庁予算(事業)の活用状況	・H25～「緑の青年就業準備給付金事業」					
国有林野事業からの講師派遣やフィールド提供等の有無(協定締結を含む。)	・平成29年7月に島根県立農林大学校と島根署とで連携・協力協定を締結。 ・国有林からフィールドの提供。					
林野庁及び国有林野事業に対する要望	【林野庁】 ・「緑の青年就業準備給付金事業」の継続と予算確保 ・職員の技術力向上に向けた研修の継続実施					
	【国有林野事業】 引き続き、国有林野事業の概要説明の授業を設けたいので、対応願いたい。					

林業科でのエキサイティングな日々（実習風景）



立木伐倒(練習機)



立木伐倒(現場)



架線集材機操作



高性能林業機械(ハーベスタ)操作



高性能林業機械メンテナンス



高性能林業機械(フォワーダ)操作



測量



作業道開設



育苗(播種)



植栽



下刈り



枝打ち



島根県立農林大学校・飯南キャンパス（島根県中山間地域研究センター内）

Shimane Prefectural College for Agriculture And Forestry
島根県立農林大学校・林業科（飯南キャンパス）
 〒690-3405 島根県飯石郡飯南町下米1207
 （島根県中山間地域研究センター内）
 TEL: 0854-76-2100 FAX: 0854-76-2103



ホームページ



Facebook

林業の未来を伐り拓く 勇者 20名 大募集!



森林のエキスパートをめざせ



島根林業PR大使：かまいたち

島根県立農林大学校 林業科

林業の未来を伐り拓く エキスパート を養成

森林の適切な管理方法や高性能林業機械を使用した木材の伐採・搬出など、森林・林業及び木材産業に関する知識や技術を実習中心のカリキュラムを通じて基礎からしっかりと習得できます。2年次からは「森林技術コース」と「経営管理コース」の何れかを選択し、社会や事業体が求める専門的なスキルを高めます。

《教育方針》

I 実践力を磨く教育

高性能林業機械等の操作をはじめ、実践を想定した実習に重点を置くことで多様な現場での状況判断力を磨き実践力を高めます

II 感性を磨く教育

森づくりから住宅建築等の木材利用まで関連する幅広い知識の習得と実践的な実習によって、森林・林業に関する感性を磨きます

III 人間力を磨く教育

専門の知識・技術の習得のほか、2年間で約300時間設定されている「特別教育活動」等の時間を活用し、農大祭・スポーツ大会や地域活動等への参加を通じ、コミュニケーション能力や協調性、公共心等を高めます

《4つの特徴》

① 実習重視のカリキュラムと充実した研修環境

近隣の県有林等を演習林として、所有する実習専用の伐倒練習機・高性能林業機械(ハーベスタ・スイングヤーダ・タワーヤーダ・フォワーダ)等を利用してスキルを高めます。



(左) フォワーダ (中央) ハーベスタ (右) スイングヤーダ



タワーヤーダ



集材機



人工支柱

② 林業就業に必要な様々な資格取得

即戦力として必要な多くの資格(免許・修了証等)を在学中に取得

- 大型特殊自動車免許 ■ 車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込及び掘削用)修了証 ■ 林業架線作業主任者免許講習修了証(修了後実務経験2年以上で免許申請が可能) ■ 伐木等業務特別教育修了証 ■ 刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- 伐木等機械の運転業務に係る特別教育修了証 ■ 走行集材機械の運転業務に係る特別教育修了証 ■ 簡易架線集材装置等の運転又は架線集材機械の運転業務に係る特別教育修了証 ■ 機械集材装置運転業務特別教育修了証 ■ 林業種苗生産事業者講習修了証
- 玉掛け技能講習修了証 ■ 小型移動式クレーン運転技能講習修了証 ■ フォークリフト運転技能講習修了証 ■ 赤十字救急法基礎講習修了証 ■ 赤十字救急法救急員養成講習修了証 ■ 狩猟免許(わな猟) ■ 森林情報士(2級)(卒業後申請可能)

③ きめ細かな就職指導により就職率100%

県内林業事業体に関する豊富な情報とインターンシップによる職場体験などを通じて、学生ひとり一人の希望に添ったきめ細かな就職支援により高い就職率(100%)を確保

④ 卒業するまで島根県が全力支援

学生寮・宿舎(Wifi無料)を利用可能

給付金や貸付金制度により必要経費をサポート(県独自の返還免除ルールあり)

※ 島根県緑の青年就業準備給付金：年間最大約142万円、林業就業促進資金：年間最大60万円、何れも給付等に要件あり

島根県立農林大学校 飯南寮

鉄筋コンクリート2階建ての学生寮です。部屋は全室個室(全17室：洋室)で、机・椅子・ベッド・ミニキッチン・エアコン等備え付けられています。(令和2年度増設予定)

【部屋の広さ及び主な設備】

- 約16m²(約10畳) [ミニキッチン等のスペースを含む]
- 冷暖房用エアコン
- 勉強机・椅子・ベット・整理棚(本棚)・押し入れ
- ミニキッチン・IHコンロ(1口)・電気給湯器
- インターネット接続(wifi接続料無料)

【共同利用の設備等】

- トイレ(1・2階)
- 浴室・脱衣室(1階)
- 洗濯室[全自動洗濯機・乾燥機](1・2階)
- 暗証番号式電子錠(共用玄関扉)
- ◎ 家賃 月額 9,000円 (光熱水費等は別途必要)



室内(勉強机・椅子・ベッド・エアコン)



室内(ミニキッチン)



室内(整理棚)



室内(押し入れ)

給付金で卒業できる！



【給付金：緑の青年就業準備給付金】
島根県立農林大学校林業科の学生は、“給付金”を受けられるため、修学費用の経済的負担も少なく、2年間の学校生活を送ることができます。このほか、資格取得や技能習得のための研修受講費用には、“貸付金(無利子)”が利用できます。(貸付金は、償還免除の規定もあります。)

* 給付金額は年によって変動し、受給には各種要件があります(1年以内に林業分野へ就業し一定期間従事すること等)

● 主な修学等経費

入学検定料	入学科	授業料	教材費、外部講習受講料、資格検定料等	寮費(家賃)
2,200円	5,650円	9,900円/月	45万円程度/2年	9,000円/月

入学者の出身高校(平成5～令和2年度：県内高校)

安来高等学校	大東高等学校	大社高等学校	矢上高等学校	益田東高等学校
松江北高等学校(通信制)	横田高等学校	大社高等学校佐田分校	江津工業高等学校	吉賀高等学校
松江工業高等学校	三刀屋高等学校	出雲北陵高等学校	石見智翠館高等学校	津和野高等学校
松江商業高等学校	三刀屋高等学校掛合分校	出雲西高等学校	キリスト教愛真高等学校	隠岐高等学校
松江農林高等学校	飯南高等学校	大田高等学校	浜田高等学校今市分校	隠岐島前高等学校
開星高等学校	平田高等学校	遼摩高等学校	益田高等学校	隠岐水産高等学校
松江西高等学校	出雲農林高等学校	島根中央高等学校	益田翔陽高等学校	

卒業生の主な就職先

松江森林組合	大田市森林組合	須佐チップ工業有限会社	株式会社 田部
しまね東部森林組合	邑智郡森林組合	山興緑化有限会社	播磨屋林業株式会社
大原森林組合	石央森林組合	伸共木材協同組合	山陰丸和林業株式会社
仁多郡森林組合	高津川森林組合	浦田木材株式会社	有限会社酒井材木店
飯石森林組合	隠岐島後森林組合	赤松産業株式会社	島根県森林組合連合会
出雲地区森林組合	隠岐島前森林組合	松浦造園株式会社	(一社)島根県林業公社

在校生の声

Interviews to Students

Q1. 林業に興味を持ったきっかけは？

自然の中で身体を動かしたり機械を使った仕事をしたいと思い、林業に関心を持ちました。

きれいに整備された人工林を見て、林業に興味を持ちました。

高校の授業などで知った地球環境問題をきっかけに、温暖化対策などで森林の育成・管理を担う林業について考えるようになりました。

Q2. 農林大学校 林業科を選んだ理由は？

チェーンソーや刈払機をはじめ大型特殊自動車免許など、様々な資格が取得できるので入学を決めました。

就業準備給付金や就業促進資金といった支援制度があるので経済的な負担が少ないことが、入学を後押ししてくれました。

オープンキャンパスで林業機械の操作を体験しました。その際、先輩から重機の操作は慣れるまで少し時間がかかるけどすごく楽しいと聞いて、林業科に興味を持ちました。

森林・林業の知識、立木伐採や林業機械操作などの基本をしっかり身に付けることが、林業現場でエキスパートを目指す早道だと思います。

Q3. 農林大学校 林業科での講義・実習の感想は？

暑さや寒さが辛い時もありますが、山の中での実習は、最高に気持ちがいいです。

実習で伐採した立木が狙った方向に倒れるととても爽やかな気持ちになります。

人工林の管理方法など森林・林業に関する基本的知識や、立木伐採・木材搬出などの技術を基礎から教わっています。林業は知れば知るほど奥が深いです。だから、ますます挑戦してみたいと思いました。

スポーツ交流会等の課外活動、仲間との寮生活など、授業以外の時間もとても充実していて楽しく過ごしています。きっと生涯の友との出逢いもありますよ！

Q4. 卒業後の将来の夢は？

どんな立木でも確実に伐れる林業現場のプロを目指したいです。

地元の山をそのまま放置しておけないと思い、将来の夢を「一人前の林業職人になる」ことに決めました。

地域の山を活用しながら適切に保全する技術者になることです。お世話になってきた山を活かし守れるように日々勉学に励もうと思います。

将来は林業で起業したいと思っています。なので、在学中に様々な資格を取得し、事業体経営についても学び、基礎固めしたいです。

Q5. 次の入学を目指す学生にメッセージをお願いします

間伐などの森林整備に携わった自分の仕事の成果がハッキリと目に見えることが、林業の魅力の一つだと思います。

私達は先人から引き継いだ森林を伐採し木材として利用しています。だから、伐採後は、植林などによって次世代につなぐ森を造る責任があります。持続的な森林利用を生業とする林業は、大きな使命とやりがいのある仕事だと思っています。

現在、林業は課題や問題を抱えていますが、ICTの活用などによって、今後、産業としての「可能性」や「伸びしろ」はむしろ大きいと思います。そういう意味で、これからの林業にやりがいを感じています。ぜひ一緒に林業を盛り上げていきましょう！



卒業生の声

Interviews to Graduates



農林大学校林業科で学んだ知識と技術を活かして頑張っています

農林大学校林業科では、伐木技術の基本をはじめ、高性能林業機械の操作など就職してすぐに役立つたくさんことを学びました。社会生活の様々な場面で利用される木材を生産し、また植えて健全な森林づくりを行う「サステナブルな林業」に私はやりがいや魅力を感じています。

在学中に出会った同級生や講師の方々とは今でも交流があり、仕事の話も気軽にできる良い関係で、これからも大切にしていきたいと思います。

皆さんも農林大学校でやりがいや大切なものを見つけ、一緒に島根県の林業を盛り上げていきましょう。



行長 風雅さん
H28年度 林業科卒業
(就職先) 山興緑化有限会社



杉原 愛梨さん
H30年度 林業科卒業
(就職先) 飯石森林組合

林業機械のオペレーターとして豊かな自然の中で充実した毎日を過ごしています

農林大学校では講義や実習を通して多くの事が学べます。私は、高性能林業機械を用いた実践的な実習がとても印象に残っています。高性能林業機械の操作には「力」は必要ないので女性でも十分操縦することが可能です。

在学中は先生方や同級生に支えられ、不安なく楽しく過ごすことができました。卒業し就職した今でも林業科で学んだことが様々な場面で役立っています！

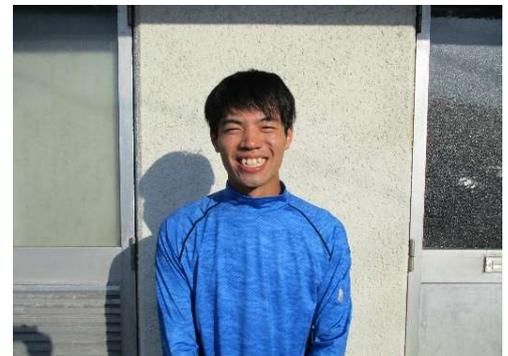
林業は、自然の中で、森林を守り育てるスケールの大きい魅力ある仕事です。皆さんも私と一緒に林業男子・林業女子を目指しませんか？

森林・林業の知識だけでなく、チームで仕事をすることの重要性を農林大林業科で学びました

林業科では講義による基礎知識の修得に加え、授業の半分以上を占める実習により、現場における実践力が鍛えられます。

現場実習では毎日にリーダーを決め、役割分担からその日の目標に至るまで、学生同士で話し合い決定します。時に励まし合い、時に助け合いながら実習することで、個々の能力を最大限活かせるよう、チームとしての結束力を高め、チームワークを磨くことを学びました。

現在の職場においても、仕事の効率性や安全性等を高めるためにはチームワークは欠かせません。One Team! 農林大学校林業科で学んだことの意味を就職して改めて実感しました。



小林 孝央さん
H28年度 林業科卒業
(就職先) 大田市森林組合

各林業大学校等の概要等

名 称	広島県立庄原実業高等学校		所在地	広島県庄原市 明治41年比婆群立実業高校として開校 大正12年庄原実業高校に改称	
設置・運営主体	広島県		学校等の種類	専修学校/各種学校/その他	
教育理念・設置目的	<p>①ミッション(地域社会における自校の使命) 農業専門高校として、生命体の育成を基盤とした教育活動を展開し、未来を切り拓く感性と創造性豊かな人間形成教育を推進するとともに、社会で通用する人材を育成する。</p> <p>②ビジョン(実現しようとする自校の将来像) 校長を中心とした自律的な学校経営体制が確立しているとともに、高い能力及び使命感を持った教職員の指導により、「地域社会に貢献し、自ら伸びる」を基底に将来プロフェッショナルとして活躍するという生徒の夢を実現させることができ、地域社会や県民から信頼され期待される学校の創造に努める。</p> <p>1. 「自ら伸びる」をスローガンに、専門高校として、社会の即戦力となる人材の育成に努める。そのために、学力の向上と人間形成教育に力点を置く。</p> <p>2. 農業高校拠点校として、特色ある教育活動を展開し、地域社会や県民から信頼され期待される学校の創造に努める。</p>				
学科・コース (定員・期間)	生物生産学科	環境工学科	食品工学科	生活科学科	
教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。)	<p>農業生物の育成を基底に、生産から消費に至るまでの一貫した学習を通して、作物栽培や家畜飼育及び農業経営に必要な知識と技術を体系的に学習し、地域の担い手となる農業経営者、農業技術者及び農業関連産業で活躍する将来のプロフェッショナルを目指す。</p>	<p>農業・農村の基盤整備や自然生態系・農林生態系の保全及び持続可能な農業に関する基礎的・基本的な知識と技術について学習し、持続可能な開発の意義や役割を理解するとともに、地域農業と地域社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。</p>	<p>農業生物の効率的な活用と高度利用を図るために必要な知識と技術を体系的に学習し、食品産業及びバイオ関連産業で活躍する将来のプロフェッショナルを目指す。</p>	<p>合理的・科学的・文化的な生活を営むために必要な知識と技術を体系的に学習し、家庭生活や地域社会の環境・文化・健康及び福祉の向上など、ヒューマンサービスの分野で活躍する将来のプロフェッショナルを目指す。</p>	
その他学校等の特徴	<p>①「庄実版クォーター制」による教育活動の展開 ②「庄実版デュアルシステム」による派遣実習 ③「研究室」への所属と、「チューター制」による進路指導 ④「6次産業教育」の実践 ⑤資格取得の推進</p>				
新たな取組(今後検討)	<p>学科目標⇒環境保全類型は森林資源の利用や生態系の保全技術及び持続可能な農業技術など、環境の保全や持続型農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる(R3年度より変更予定)。 それに伴い、新たに科目「林産物利用」「栽培と環境」が加わる予定。</p>				
卒業後の進路	<p>備北森林組合、土地改良事業団、中電工、JR貨物、大歳組、住化アグロ、NSウエスト、自衛隊、アドバンス</p>				
林野庁予算(事業)の活用状況					
国有林野事業からの講師派遣やフィールド提供等の有無(協定締結を含む。)	<p>R1年度に「林業を担う人材育成に向けた広島県立庄原実業高等学校、広島県森林組合連合会及び広島北部森林管理署との連携・協力に関する協定書」を締結。現在、出前講座を実施していただいている。</p>				
林野庁及び国有林野事業に対する要望	<p>【林野庁】 学校所有の演習林の境界調査のやり方等ご教授いただきたい。</p> <p>【国有林野事業】 樹木標本(サンプル)等いただきたい。</p>				